

古今圖書集成

編

廣西師範大學出版社

日本關東憲兵隊報告集（第二輯）4

廣西師範大學出版社

吉林省檔案館
編
廣西師範大學出版社

日本關東憲兵隊報告集（第二輯）4

廣西師範大學出版社

· 桂林 ·

目 录

1	大连宪兵队特周报(昭和十七年一月十七日)·····	〇〇一
2	承德宪兵队周间报(昭和十七年一月十八日)·····	〇一六
3	东安宪兵队特周报(昭和十七年一月十三日)·····	〇二三
4	东安宪兵队周报(昭和十七年一月十七日)·····	〇三三
5	哈尔滨宪兵队特周报(昭和十七年一月十九日)·····	〇五三
6	海拉尔宪兵队特周报(昭和十七年一月二十日)·····	〇七一
7	牡丹江宪兵队特周报(昭和十七年一月十七日)·····	一一〇
8	齐齐哈尔宪兵队特周报(昭和十七年一月十七日)·····	一三七
9	通化宪兵队周报(昭和十七年一月十八日)·····	一六七
10	通化宪兵队周间报(昭和十七年一月十八日)·····	一七五
11	奉天宪兵队特日报(昭和十七年一月七日)·····	一九一
12	锦州宪兵队特周报(昭和十六年十二月三十日)·····	一九七
13	锦州宪兵队特日报(昭和十六年十二月二十二日)·····	二〇二

14	锦州宪兵队特日报(昭和十六年十二月二十九日)	二二三
15	锦州宪兵队特日报(昭和十六年十二月三十一日)	二二五
16	锦州宪兵队特日报(昭和十七年一月六日)	二三二
17	锦州宪兵队特日报(昭和十七年一月七日)	二三七
18	孙吴宪兵队特日报(昭和十七年一月二日)	二四二
19	孙吴宪兵队特日报(昭和十七年一月三日)	二五七
20	孙吴宪兵队特日报(昭和十七年一月四日)	二六八
21	孙吴宪兵队特日报(昭和十七年一月五日)	二七六
22	孙吴宪兵队特日报(昭和十七年一月六日)	二八四
23	延吉宪兵队特日报(昭和十七年一月七日)	二九四
24	延吉宪兵队特日报(昭和十七年一月八日)	三〇二
25	哈尔滨宪兵队特搜日报(昭和十六年五月八日)	三一〇
26	哈尔滨宪兵队特搜日报(昭和十六年五月九日)	三三一
27	哈尔滨宪兵队特搜日报(昭和十六年五月十日)	三四五
28	哈尔滨宪兵队特搜日报(昭和十六年五月十二日)	三六六

25	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29
哈尔滨宪兵队特搜日报(昭和十六年六月七日)	哈尔滨宪兵队特搜日报(昭和十六年六月七日)	哈尔滨宪兵队特搜日报(昭和十六年六月六日)	哈尔滨宪兵队特搜日报(昭和十六年六月五日)	哈尔滨宪兵队特搜日报(昭和十六年六月四日)	哈尔滨宪兵队特搜日报(昭和十六年六月二日)	哈尔滨宪兵队特搜日报(昭和十六年五月十六日)	哈尔滨宪兵队特搜日报(昭和十六年五月十五日)	哈尔滨宪兵队特搜日报(昭和十六年五月十四日)	哈尔滨宪兵队特搜日报(昭和十六年五月十四日)	哈尔滨宪兵队特搜日报(昭和十六年五月十二日)
.....										
四四六	四三五	四三〇	四二三	四一四	四〇六	四〇一	三九八	三九一	三八八	三七四



昭和十七年大憲兵第四號報告通牒
陸軍省防務大臣持統天皇御前
陸軍省防務大臣持統天皇御前
陸軍省防務大臣持統天皇御前

大連憲兵隊長 西田象
長 兵 隊

特 週 報 (第一報)

一時局 二件 丁民心、動向

◎ 綜合判斷

日人

帝國海軍、實力ヲ輕視シ恐米の觀念ヲ抱

クモノ學生中一部入營者ノ防諜上有害言

動ヲ洩スモノアル外特ニ注意ヲ要スハキ

動向ナク一般ニ戰果擴大ニ益々皇軍感謝

ノ念ヲ高揚シアリ

滿人

敢性國家銀行使用滿人中ニハ將來ノ生モ

ヲ憂慮轉職ヲ策スルモノ統制經濟ニ伴フ
物資不足誇大通信ヲ爲スモノ増加シアリ
外國人

駐連德逸領事館ニ於ケル各種年鑑ノ蒐集
等要注意動向アル外駐連ソ聯領事ノ日独
伊離間乃至反戰思想ノ宣傳ヲ企圖シアル
等注意ヲ要スルモアリ

二裝戰ニ伴フ米英蘇重慶側ノ對滿策動ト之ニ
伴フ民心ノ動向
イ米英蘇重慶側ノ策動

該當事項ナシ

口日米英開戰ニ伴フ民心ノ動向

國防献金並戰勝祈願

月日		献金件数	献金額
一一二	三〇	一一二〇	〇

[illegible]

日人

要注意言動

②二月一日東京第一師團管内ニ入營ス三月以内
ニ南方ニ出動スル豫定テス大東亞戰カナケレ
ハ學校ヲ遊ニテイコトカ出来ルカ戰時下ニ於
テハ致方モアルエー

(旅順學生入營者ニ)

③海軍第一師團戰後進展セサルハ米國海軍
優勢ナルタメナリ日本海軍ハ其後西太平洋
ニ於テ相當苦戰シアル狀況ニアリ

(満日旅順支局長ト)

④印度ノ独立運動者ガンデーハ今頃英國ノ爲
監禁サレアルナラン斯ル時期ニ於テ日本ハ印
度ニ工作員ヲ救シガンデーヲ第二「汪精衛」タラ
シムヘキナリ
(天連國通新聞記者筆頭詰所員)

滿人

要注意動向

大東亞戰=伴ヒ在連敵性國香港上海花旗
銀行銀行使用滿人社員間=ハ自己ノ將來
生活=不安ヲ抱キ他=轉職スヘク画策
中ノモノアリ主ナル言動次ノ如シ
①日本ハ速=敵性國資本管理人ヲ決定シ
將來ノ方針ヲ指示スヘキナリ
②吾々モ見込ナキ銀行ノ留守番テハ生活
力不安テナラナイ
③吾々ハ速カ=他=轉職シタキモ日本ノ
官憲=依リ鬼ヤ角言ハレルノテ止ムヲ
得スブラシテ居ル何時迄モ斯ル銀
行=居テ白眼視サレルヨリ速=轉向シ

夕力得策ナリ

外國人

駐連独逸領事館ノ勅向

⑤駐連独逸領事館ニ於テハ領事ビシヨブ

ノ指示ニ依リ日人館員ハ目下朝鮮年鑑

滿洲年鑑毎日年鑑朝鮮内地貿易月報等

ノ蒐集ニ努メアリ

要注意言動

大東亞戰ノ發生原因カ開戦当初ニ於テ

ハ眞偽不明ナリシモ其後調査判明セル

處ニ因レハ日本ノ挑戦ナルコト明瞭ナ

リソソ聯ハ取テ他國ニ挑戦スルモノニ非

スシテソソ聯國民ハ一般ニ戦争ヲ忌避シ

アリ

註暗ニ福軸國側ニ對シ及戰思想ヲ注入
セント策シアルカ知シ

(駐連シ談領事ノ言)

其他

シヤハ日太ニ對シ敵性國家デア
力之ハギリシヤ政府首腦部中ニ一部親
英派アル房ナリ吾々海外移住民トシテ
ハ本國力一日モ早ク日本ト手ヲ握ル
トヲ希望シアリ

三、恐米英蘇乃至親米英蘇動向並及日独思想ノ
(ギリシヤ人ワカキス、言)

四、待託スヘキ事象ナシ
政府之軍ノ方金態度ニ對スル動向

満人

物資不足誇大通信

今大連ノ生活ハ困難ノ極ニ達シ食物カ

非常ニ缺乏シ家族アル者ニ對スル配給

ハ麥粉一人一ヶ月ニ三斤ニシテ家族ナ

キ者ハ購入出来ス飢餓ノ状態ニアリ

(大連市居住満人ニ没收)

①石炭ハ麻袋一袋百斤八円テモ手ニ入ラ

ズ豆油ハ三四ヶ月一回各サニ一斤配

合ナレテ居ルカ幾何モ使用出来ナイ

②店ノ方テハ莫大ナ資本ヲ擁シナカラ何

モ尙賣力出来ナイ一寸テモ手ヲ出スト

當局ニ注視サレル西恩大連テハ買溜ハ
出来スズトツノ品ハ全部公定價格テ賣
却セネハナラヌ商賣力出来ナクテモ廢
業モ許サレヌ成行ニ委スル外ハナイ

(大連古復昌盛滿人一沒收)

流言ノ原因トナル虞アル要注意通信
回話ニ依ルト大連テハ今年ヨリ徵兵ヲ施

行スル由就テハ小生ノ身ノ振方ニ関シ
盡力市願申上マヌ
中銀日銀鮮銀券ハ當地テハ通用シマセ
ン

五日米災開戦ニ伴フ經濟界ノ特殊及郷者
特記スヘキ事項ナシ

(保定居住者人ヨリ大連居住)

六日独伊離間策動並之ニ伴フ動向

要注意動向

一月十六日發信者ニル
旅順土井靜雄宛左ノ如キ日独伊離間的
パンフレットヲ却送越セリ(沒收)

内容中要注意箇所

最近ノ亞細亞文化ハ其ノ窮極ノ基礎ニ
於テハ我々ト司談アリマシテ精
初的ニハ古代希臘的ニアリ其ノ實行方
法ニ於テハカルマン的ニテラウ
ト云々特有ナル此ハ最良實ニ活ノ基礎ニハ
リ
アン民族ノ非常ナル科學的ノ業績ナ
ル即チ日本文化ハ後ニ於テ疑問

シ其流動性ヲ失ヒ速ニハ全ノ麻痺狀態
トナツタノヲ示ス

要注意言動

日獨兩國ニ於ケル伊大和ノ戰果見ルハキ
モ、ナク日獨兩國ヨリテ手足解テリ

在連日人報載提報者

日獨ノ戰ハ連日不利ニ陥リ目下モ又コ

一、竟界線迄退却セリ

日獨新階ノ戰況ニ陽載シアラスト

暗ニ日獨離間の宣傳ヲ爲シアリ

(駐連日領事ハトワ)

七 流言蜚語

月日	流布區域	流布民族	內 容	及鄉耆士處置
				旅順警備府並

以下
降九

市旅
内順

満
人

近々州内漢船全
部徴發廿上南
洋方面ニ向フ予
定ナリ

同工作部ニ於テ
徴傭船ノ改装
ヲナシアルヲ満
使用人臆測シ
添布セルモノ如
ク特ニ又御者ナ
キモ引續キ嚴
視中

了